



## ダイヤモンドキーパーシリーズ 作業マニュアル

---

KeePer技研株式会社

DIAMOND

KeepPer®

ダイヤモンドキーパー  
作業マニュアル

## ダイヤモンドキーパーで使用するツール

### STEP.2 汚れ落とし工程で使用

- 爆ツヤ
- 爆ツヤ専用小分けボトル
- スポンジ 青



### STEP.3 ガラスコーティング STEP.4 レジンコーティングで使用

- ダイヤモンドキーパーケミカル
- レジン2
- マイクロスポンジ
- レジン用スポンジ
- ダイヤクロス
- レジンクロス



●キーパーチェックボード



## ダイヤモンドキーパープレミアムで使用するツール

### ボンネット・トランク・ドア・給油口の内側

- ダイヤモンドキーパーケミカル
- レジン2
- ガラスアップゼロ



### 無塗装樹脂パーツ

- 樹脂フェンダーキーパー
- 爆ツヤ



### レンズ類・バイザー

- ポリカコート
- 爆ツヤ



### 窓ガラス全面

- ウィンドウガラスフッ素
- ガラスポリッシャーSiC2



### ホイールコーティング

- ホイールコーティング2
- ホイールクリーナー



### エンジンルーム

- レジン2
- ホイールクリーナー



## ダイヤモンドキーパー 作業の流れ

STEP.1	洗車	P3
	オプション 鉄粉取り <sup>※1</sup> (必要であれば)	
STEP.2	汚れ落とし工程	P4~P6
	経年車の場合 オプション 細密研磨 <sup>※1</sup> (必要であれば)	
STEP.3	ガラスコーティング	P7~P9
	1時間の自然硬化または水ジメ作業	
STEP.4	レジンコーティング / 仕上げ	P10~P13

**⚠ 注意: アドバンスドライブのLiDAR表面にはボディークートを施工しないでください。**

撥水コーティング剤がLiDAR表面に付着すると、雨天時にセンサ表面に細かな水滴が発生し、センサーが汚れと誤検知され、「LiDAR 一時使用できません」と表示される場合があります。(レクサス[LS]・トヨタ[ミライ]等)



(写真) フロントナンバー下のLiDAR

※1. 「鉄粉取り」「細密研磨」の作業内容はP23~P24を参照ください。

# ダイヤモンドキーパー・ダイヤモンドキーパープレミアム 施工内容

## ダイヤモンドキーパー

### ボディ

ダイヤモンドキーパーケミカル・レジン2



## ダイヤモンドキーパープレミアム

### ボディ

ダイヤモンドキーパーケミカル・レジン2



### レンズ・バイザー

レンズコーティング



### 窓ガラス

超撥水ガラスコーティング



### エンジンルームの中

レジン2



### ボンネット・トランク・ドア・給油口の内側

ダイヤモンドキーパーケミカル・レジン2



### ホイール

ホイールコーティング (シングル)



### 無塗装樹脂パーツ

樹脂フェンダーキーパー



# STEP. 1 洗車

① 手洗い又は、洗車機で水洗いをします



# STEP. 2 汚れ落とし工程

洗車後、ボディが濡れた状態で作業を行う

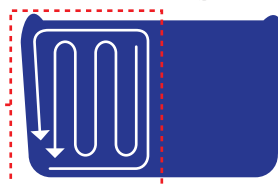
① 「爆ツヤ」を「スポンジ 青」に適量取る

\*太線1本



② ボンネット半分位の面積に  
一定方向に隙間なく  
フチまで塗り広げる

\*塗り広げる時の  
スポンジの動き



1スパン

\*塗り広げる時の  
スポンジの押さえ方  
支えるように軽く押さえる。

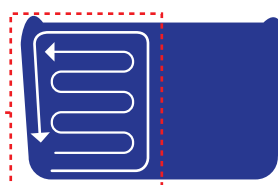


③ 3スパンまで①②の作業を繰り返す



④ 1スパン目に戻って、  
塗り広げた塗装面を  
軽くこする(汚れを動かす)

\*軽くこする時の  
スポンジの動き



1スパン

\*軽くこする時の  
スポンジの押さえ方  
支えるように軽く押さえる。



## STEP.2 汚れ落とし工程

### 5 ボディ全体に①～④の作業を行う

#### ⚠ 注意:

- 作業中ボディが乾きそうな時には、水をかけて乾かないようにすると作業が早くすみます。(乾いても塗装に害はありません)
- ガラス面に撥水加工されているお車の場合、撥水効果が落ちることがあります。液ダレしないように注意してください。



脱脂工程の流れ

右前ルーフ→右後ルーフ→トランク→  
左後ルーフ→左前ルーフ→左ボンネット→  
右ボンネット→右フロントフェンダー→  
右前ドア→右後ドア→右リアフェンダー→  
リア周り→左リアフェンダー→左後ドア→  
左前ドア→左フロントフェンダー→  
フロント周り



### 6 「爆ツヤ」をしっかりと洗い流す

#### 👉 参考

- 隙間や細かい部分を特にしっかりと洗い流します。



## STEP.2 汚れ落とし工程

### 7 プラセーヌで水減らしをし、 エアガンでタオルで拭けない隙間の水を飛ばす

#### ⚠ 注意

- 塗装にエアガンを近づけすぎると、  
塗装を飛ばす恐れがあるため、50cm程離します。

#### 👉 参考

- ドアミラー、ドアノブ、ワイパー周り、バイザー内側、給油口、アンテナ、  
ホイール・タイヤ、フロントグリルは、特に念入りに行います。



### 8 ボディ、窓、ステップ、ボンネットの裏の 水を拭き上げ

#### ⚠ 注意:

- ステップ、ボンネット裏は砂やホコリ等が付着するので、  
別のタオルを使用してください。  
ステップ等を拭いたタオルを窓ガラス、  
ボディで使用するとキズの原因になります。

#### 👉 参考

- ボディの水滴を「キーパークロス」、窓の水滴を「快洗Taoる」で拭き取ってください。

使用ツール  
(左)キーパークロス  
(右)快洗Taoる





# STEP. 3 ガラスコーティング

## ① 乾いた「マイクロスポンジ」に「ダイヤモンドキーパーケミカル」をスプレー

### 参考

- 飛散した「ダイヤモンドキーパーケミカル」が付着しないよう、車に背を向けて、スプレーノズルと「マイクロスポンジ」を近づけてスプレーします。

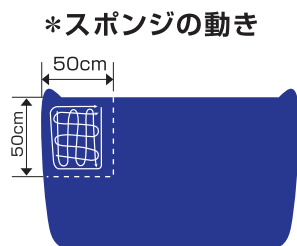
\*最初は2往復 (Wの字)      \*以降は1往復 (Vの字)



## ② 約50cm四方の面積に、タテヨコに隙間なくフチまで塗り広げる

### 参考

- スポンジの動きが重く感じたら「ダイヤモンドキーパーケミカル」を足してください。
- 1スパンの面積を約50cm四方の面積よりも広くしないでください。(被膜として必要な厚みが確保できません)



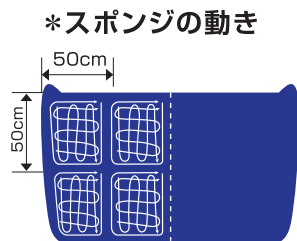
\*スポンジの持ち方  
スポンジを軽く掴むように持つ



## ③ ボンネット半分位の面積に①②の作業を繰り返す

### 参考

- 湿度が高い場合は、③の面積を小さくすると施工しやすくなります。



## STEP.3 ガラスコーティング

### ④ 1枚目の乾いた「ダイヤクロス」で拭く



参考

- ケミカルが硬化する前に拭き上げてください。

\*クロスの動き



\*クロスの持ち方  
クロスのカドを親指で  
ロックするように挟む



### ⑤ 2枚目の乾いた「ダイヤクロス」で仕上げる



参考

- 塗布した面積よりも、少し広く拭くことでキレイに仕上がります。

\*クロスの動き



### ⑥ ボディ全体に①～⑤の作業を行う

ガラスコーティングの流れ

右前ルーフ→右後ルーフ→トランク→  
左後ルーフ→左前ルーフ→左ボンネット→  
右ボンネット→右フロントフェンダー→  
右前ドア→右後ドア→右リアフェンダー→  
リア周り→左リアフェンダー→左後ドア→  
左前ドア→左フロントフェンダー→  
フロント周り



## STEP.3 ガラスコーティング

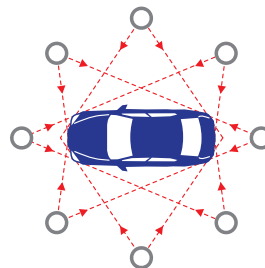
### 7 拭き残しなどを確認

施工を終えたら、いろいろな角度から施工車を見て、拭き残しがないか確認します。



参考

- 1m位離れたところから角度を変えてチェックします。



### 8 1時間の自然硬化 または 水ジメ作業

屋内で**1時間**の自然硬化または、水ジメ作業を行う



参考

- 屋内で**1時間**の自然硬化と、水ジメ作業で時間短縮をした場合では仕上がりと品質は変わりません。

水ジメを行う場合の使用ツール

- ① 純水・純水用蓄圧式スプレー
- ② キーパークロス
- ③ プラセーヌ



ボディ全体に「純水」のミストを噴きかける

「純水」をプラセーヌで拭き取りながらガラス被膜表面を締めます

残った水滴は「キーパークロス」または「快洗タオル」で拭き取る

# STEP. 4 レジンコーティング

## ① 「レジン2」の缶を逆さにしてよく振る



## ② 乾いた「レジン用スポンジ」に「レジン2」の缶を立ててスプレー

### 参考

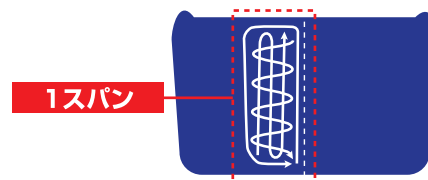
- 飛散したレジン2が付着しないよう、車に背を向けて、スプレーノズルと「レジン用スポンジ」を近づけてスプレーします。

\*最初は2往復 (Wの字)   \*以降は1往復 (Vの字)



## ③ ボンネット1/4位の面積に タテヨコに隙間なく フチまで塗り広げる

\*スポンジの動き



\*スポンジの持ち方  
スポンジを  
軽く掴むように持つ



### 参考

- 「レジン用スポンジ」の動きが重く感じたら「レジン2」を足してください。
- 1スパンの面積をボンネット1/4よりも広くしないでください。(被膜として必要な厚みが確保できません)

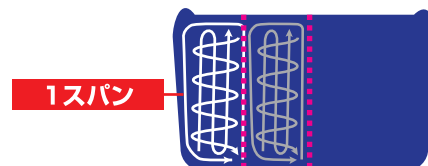
## STEP.4 レジンコーティング

### 4 となりのスパンに、 ①～③の作業を繰り返す

#### 参考

- となりのスパンと少し重なるようにして隙間なく塗り広げてください。

\* スポンジの動き



缶を立ててスプレー

### 5 1枚目の乾いた「レジncross」で クロスの面を換えながら2回拭く

#### 参考

- 「レジン2」が乾く前に速やかに拭き上げてください。
- 拭き取りにくくなったら、「レジncross」を換えてください。
- 塗布した面積よりも、少し広く拭くことでキレイに仕上がります。

\* クロスの動き



\* クロスの持ち方  
クロスのカドを親指で  
ロックするように挟む

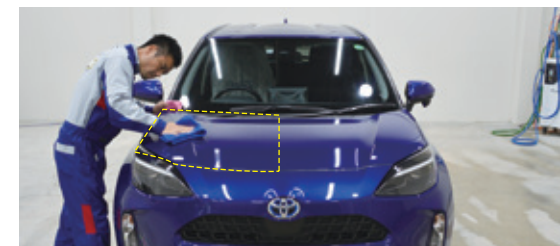
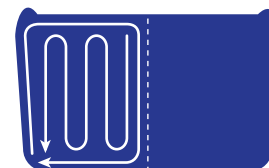


### 6 2枚目の乾いた「レジncross」で クロスの面を換えながら2回仕上げ拭き

#### 参考

- クロスは面を変えて拭き上げてください。
- 「レジncross」はどちらの面を使用しても仕上がりに差はありません。
- 拭き取りにくくなったら、「レジncross」を換えてください。

\* クロスの動き



## STEP.4 レジンコーティング

### 7 ボディ全体に①～⑥の作業を行う

#### ⚠ 注意:

- エンブレムやドアノブなど、細かな部分に「レジン2」が入り込まないように注意してください。
- もし「レジン2」が隙間に入った場合は、エアーガンで吹き飛ばしてください。



レジンコーティングの流れ

右前ルーフ→右後ルーフ→トランク→  
左後ルーフ→左前ルーフ→左ボンネット→  
右ボンネット→右フロントフェンダー→  
右前ドア→右後ドア→右リアフェンダー→  
リア周り→左リアフェンダー→左後ドア→  
左前ドア→左フロントフェンダー→  
フロント周り



※作業の途中で拭き取りにくくなったら、「レジクロス」を換えてください。

## STEP.4 レジンコーティング / 仕上げ

### 8 仕上げ拭き

#### 👉 参考

- ボディは乾いた(または固絞り)「レジncロス」で仕上げ拭きをします。  
窓、レンズ類、ゴム、無塗装樹脂パーツは、  
水で固く絞った「キーパークロス」で優しく拭き上げます。
- 上面は、蛍光灯などの映り込みを見ながら拭き残しがないか確認します。
- 側面は、ボディに映り込んだ「白いボード」等に拭き残しがないか確認します。

使用ツール  
キーパークロス



上面  
蛍光灯などの映り込みを見ながら拭き残しがないか確認します。



側面  
ボディに映り込んだ「白いボード」に拭き残しがないか確認します。



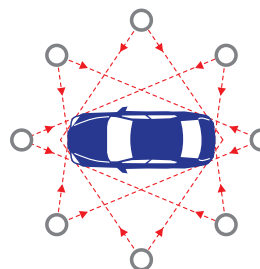
淡色の車の場合  
白い車(淡色車)は「日陰で作業灯」を使って映り込みを見ながら確認します。

### 9 最終確認

もう一度、全体がしっかりコーティングがされているか、拭き残しがないか、いろいろな角度から確認します。

#### 👉 参考

- 1m位離れたところから角度を変えてチェックします。



# ダイヤモンドキーパープレミアム 作業の流れ

	ボンネット・トランク ドア・給油口の内側	ホイールコーティング (シングル)	レンズ・バイザー コーティング	超撥水 ガラスコーティング	無塗装樹脂パーツ	エンジンルームの中
STEP.1 洗車	洗車	洗車	洗車	洗車	洗車	ホイールクリーナーで 洗 浄
STEP.2 脱脂工程	ガラスアップゼロ	ホイールクリーニング	爆ツヤ	油膜取り	爆ツヤ	
STEP.3 ガラス コーティング	ガラスコーティング					
STEP.4 レジン コーティング	レジンコーティング			ウインドウガラスフッ素		
STEP.4 仕上げ		ホイールコーティング (コーティングホールド)	ポリカコート (コーティングホールド)		樹脂フェンダーキーパー (コーティングホールド)	レジンコーティング

※各工程の作業内容は別途マニュアルを参考ください。



**W/DIA**

**KeepPer<sup>®</sup>**

**Wダイヤモンドキーパー  
作業マニュアル**

## Wダイヤモンドキーパーで使用するツール

### STEP.2 汚れ落とし工程で使用

- 爆ツヤ
- 爆ツヤ専用小分けボトル
- スポンジ 青



### STEP.3 ガラスコーティング STEP.4 レジンコーティングで使用

- ダイヤモンドキーパーケミカル(×2本)
- レジン2
- マイクロスポンジ
- レジン用スポンジ
- ダイヤクロス
- レジンクロス



- キーパーチェックボード



## Wダイヤモンドキーパープレミアムで使用するツール

### ボンネット・トランク・ドア・給油口の内側

- ダイヤモンドキーパーケミカル
- レジン2
- ガラスアップゼロ



### 無塗装樹脂パーツ

- 樹脂フェンダーキーパー
- 爆ツヤ



### レンズ類・バイザー

- ポリカコート
- 爆ツヤ



### 窓ガラス全面

- ウィンドウガラスフッ素
- ガラスポリッシャー-SiC2



### ホイールコーティング

- ホイールコーティング2
- ホイールクリーナー



### エンジンルーム

- レジン2
- ホイールクリーナー



## Wダイヤモンドキーパー 作業の流れ

<b>STEP.1</b>	<b>洗車</b>	P18
	オプション <b>鉄粉取り</b> <sup>※1</sup> (必要であれば)	
<b>STEP.1</b>	<b>汚れ落とし工程</b>	P18
	経年車の場合 オプション <b>細密研磨</b> <sup>※1</sup> (必要であれば)	
<b>STEP.2</b>	<b>ガラスコーティング(1層目)</b>	P19
	<b>3時間</b> の自然硬化または水ジメ作業	
<b>STEP.3</b>	<b>ガラスコーティング(2層目)</b>	P20
	<b>1時間</b> の自然硬化または水ジメ作業	
<b>STEP.4</b>	<b>レジンコーティング / 仕上げ</b>	P21

**⚠ 注意:アドバンスドライブのLiDAR表面にはボディークートを施工しないでください。**  
撥水コーティング剤がLiDAR表面に付着すると、雨天時にセンサ表面に細かな水滴が発生し、センサーが汚れと誤検知され、「LiDAR 一時使用できません」と表示される場合があります。(レクサス「LS」・トヨタ「ミライ」等)



(写真) フロントナンバー下のLiDAR

※1.「鉄粉取り」「細密研磨」の作業内容はP23～P24を参照ください。

# Wダイヤモンドキーパー・Wダイヤモンドキーパープレミアム 施工内容

## ダイヤモンドキーパー

### ボディ

ダイヤモンドキーパーケミカル・レジン2



## ダイヤモンドキーパープレミアム

### ボディ

ダイヤモンドキーパーケミカル・レジン2



### レンズ・バイザー

レンズコーティング



### 窓ガラス

超撥水ガラスコーティング



### エンジンルームの中

レジン2



### ボンネット・トランク・ドア・給油口の内側

ダイヤモンドキーパーケミカル・レジン2



### ホイール

ホイールコーティング (ダブル)



### 無塗装樹脂パーツ

樹脂フェンダーキーパー



# STEP. 1 洗車、汚れ落とし工程

## ① 洗車、コーティング前処理をしっかりと行います

参照：P3～P6



# STEP. 2 ガラスコーティング(1層目)

## ① 1層目のガラスコーティングを施工する

施工内容は  
「ダイヤモンドキーパー STEP3 ガラスコーティング」参照

参照ページ：P7～P9



## ② 3時間自然硬化 または 水ジメ作業

屋内で3時間の自然硬化または、水ジメ作業を行う

### 👉 参考

- ガラスコーティング1層目と2層目の間は  
屋内で3時間の自然硬化もしくは  
水ジメ作業が必要です。
- 水ジメ作業で時間短縮をした場合でも  
仕上がり品質は変わりません。

水ジメを行う場合の使用ツール

- ① 純水・純水用蓄圧式スプレー
- ② キーパークロス
- ③ プラセーヌ



ボディ全体に  
「純水」のミストを  
噴きかける

「純水」をプラセーヌで  
拭き取りながら  
ガラス被膜表面を  
締めます

残った水滴は  
「キーパークロス」または  
「快洗タオル」で  
拭き取る

# STEP. 3 ガラスコーティング(2層目)

## ① 2層目のガラスコーティングを 1層目と同じスパン、同じ手順で施工する

### 👉 参考

- 硬化時間の後、ボディにホコリが乗っている場合は、エアーガンでホコリを飛ばしてから次の作業をしてください。もし、ボディに汚れが多く乗ってしまった場合は、洗車(拭き上げ)をしてから次の作業をしてください。
- 水のかからない場所で、保管をしてください。



## ② 1時間自然硬化 または 水ジメ作業

### 屋内で1時間の自然硬化または、水ジメ作業を行う

### 👉 参考

- ガラスコーティング2層目とレジンコーティングの間は屋内で1時間の自然硬化もしくは水ジメ作業が必要です。
- 水ジメ作業で時間短縮をした場合でも仕上がりと品質は変わりません。

水ジメを行う場合の使用ツール

- ① 純水・純水用蓄圧式スプレー
- ② キーパークロス
- ③ プラセーヌ



### 水ジメを行う場合



ボディ全体に「純水」のミストを噴きかける

「純水」をプラセーヌで拭き取りながらガラス被膜表面を締めます

残った水滴は「快洗タオル」で拭き取る

# STEP. 4 レジンコーティング / 仕上げ

## ① レジンコーティングを施工する

施工内容は  
「ダイヤモンドキーパー STEP4 レジンコーティング」参照

参照ページ：P10～P12

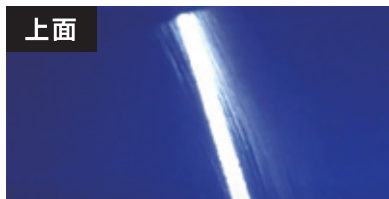


## ② 仕上げ拭き

👉 参考

- ボディは乾いた(または固絞り)  
「レジnkロス」で、窓は「キーパークロス」を  
使って仕上げ拭きをします。

使用ツール  
キーパークロス



蛍光灯などの映り込みを見ながら  
拭き残しがないか確認します。



ボディに映り込んだ  
「白いボード」に拭き残しが  
映らないか確認します。



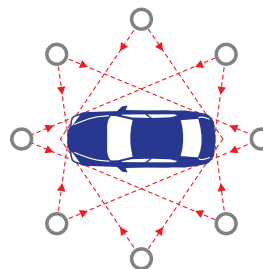
白い車(淡色車)は  
「日陰で作業灯」を使って  
映り込みを見ながら確認します。

## ③ 最終確認

もう一度、全体がしっかりコーティングがされているか、  
拭き残しがないか、いろいろな角度から確認します。

👉 参考

- 1m離れたところから角度を変えてチェックします。



# Wダイヤモンドキーパープレミアム 作業の流れ

	ボンネット・トランク ドア・給油口の内側	ホイールコーティング (ダブル)	レンズ・バイザー コーティング	超撥水 ガラスコーティング	無塗装樹脂パーツ	エンジンルームの中
STEP.1 洗車	洗車	洗車	洗車	洗車	洗車	ホイールクリーナーで 洗浄
STEP.1 脱脂工程	ガラスアップゼロ	ホイールクリーニング	爆ツヤ	油膜取り	爆ツヤ	
STEP.2 ガラス コーティング (1層目)	ガラスコーティング 1層目					
STEP.3 ガラス コーティング (2層目)	ガラスコーティング 2層目					
STEP.4 レジン コーティング	レジンコーティング	ホイールコーティング (1回目)		ウインドウガラスフッ素		
STEP.4 仕上げ		ホイールコーティング (2回目) (コーティングホールド)	ポリカコート (コーティングホールド)		樹脂フェンダーキーパー (コーティングホールド)	レジンコーティング



# ① コーティングオプション

## 鉄粉取り

塗装面に鉄粉が付着している場合のみ  
行います



**⚠ 注意：塗装面が濡れた状態で作業を行ってください。**

### STEP.1 ピュアアップ4

- ① 洗車を行い、濡れた塗装面にピュアアップ4を  
ボンネット半分程度にスプレーし  
手で伸ばす



- ② 30～40cm四方を1スパンとし  
トラップ粘土(青)でタテヨコに素早くこする

**⚠ 注意**

- ピュアアップ4が乾かないように注意してください。

**👉 参考**

- ボディが乾きそうになったら水をかけてください。
- 鉄粉が取れたか、手で確認しながら作業を行ってください。



- ③ ①～②の作業を  
鉄粉の付着している箇所に行う

**⚠ 注意**

- 鋭角なプレスラインは、またがないように作業してください。
- 1度地面に落とした粘土は廃棄し、使わないでください。



## 鉄粉取りで使用するツール

- ピュアアップ4
- アイアンイーター
- トラップ粘土 青



### STEP.2 洗い流し

- ① 水で洗い流す

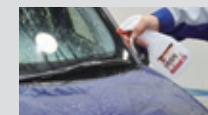
**⚠ 注意**

- ピュアアップ4が乾いてごびり付いた場合は、  
ファイナル1で擦ると取れます。



#### 多量の鉄粉が付着している場合

用意するもの  
●アイアンイーター  
(鉄粉除去剤)



①濡れたボディに  
アイアンイーターをスプレーする。



②日陰で乾かない程度に  
つけ置く。



③洗い流し、  
STEP.1～2の作業を行う。

## ② コーティングオプション

### 細密研磨

塗装表面が相当劣化している場合のみ行います



### 細密研磨で使用するツール

- アクアポリッシュ2
- RUPES (ルベス) LHR12E (回転数目安: 3~4)
- 低反発パフ
- マイクロスポンジ
- マスキングテープ



**⚠ 注意: 塗装面が乾いた状態で作業してください。**

### STEP.1 マスキング

#### ① 洗車後、マスキングをする



参考

- ワイパー付近やウォッシャーノズルなど、必要な箇所をタオルやマスキングテープで保護してください。



塗装面に「アクアポリッシュ2」がからむ場合は、「ポリッシャー」の回転数を低くして磨いてください。それでも改善しない場合は、キレイなパフに交換してください。



### STEP.2 アクアポリッシュ2

#### ① 「アクアポリッシュ2」をボンネット1/4の面積に 適量つけて塗り広げる

\*大豆1~2粒くらいの量



#### ③ 細かい部分を「アクアポリッシュ2」をつけた「マイクロスポンジ」で磨く



#### ② タテヨコに磨く



- 安全のため「低反発パフ」を塗装面と平行に軽く当ててから、スイッチを入れます。
- パフは塗装面と平行に当てて磨いてください。
- パフの回転が止まるほど強く押さないでください(機械の故障に繋がる)
- ゴム部、黒い樹脂部にはポリッシャーを当てないようにしてください。
- ポリッシャーのコードが車に触れないように、上面を施工する時は、コードを肩にかけて作業してください。
- プレスラインは「ポリッシャー」がクロス方向にまたがないように作業をしてください(下地が出やすくなり危険)



### STEP.3 洗い流し

#### ① 水で洗い流し、再度洗車を行う



- マスキングを剥がす際は、水で濡らせてからゆっくりと剥がしてください。



- 隙間や細かい部分を特にしっかりと洗い流します。
- 洗車後、残ったアクアポリッシュ2はキーパークロス (マイクロファイバークロス) で拭き取ります。





ダイヤモンドキーパーシリーズ

# メンテナンス作業マニュアル

A・標準メンテナンス

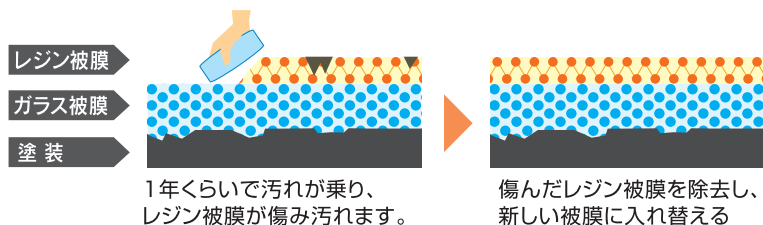
P26

B・フルメンテナンス

P27~32

# A 標準メンテナンス

Aメンテナンスは  
レジン被膜だけを  
入れ替えます。



## ① 洗車、コーティング前処理をしっかりと行います

施工内容は

「ダイヤモンドキーパー STEP1:洗車・STEP2:脱脂工程」参照

参照ページ：P3～ P6



## ② レジンコーティングを施工する

施工内容は

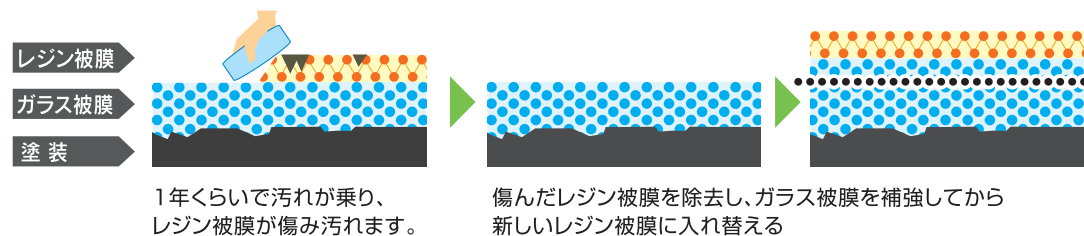
「ダイヤモンドキーパー STEP4 レジンコーティング」参照

参照ページ：P10～ P13



# B フルメンテナンス【コーティング前処理】

Bメンテナンスは  
レジン被膜を入れ替えるだけでなく、  
その下のガラス被膜の手入れもして  
補強もします。



## ① 洗車、コーティング前処理をしっかりと行います

施工内容は  
「ダイヤモンドキーパー STEP1:洗車・STEP2:脱脂工程」参照

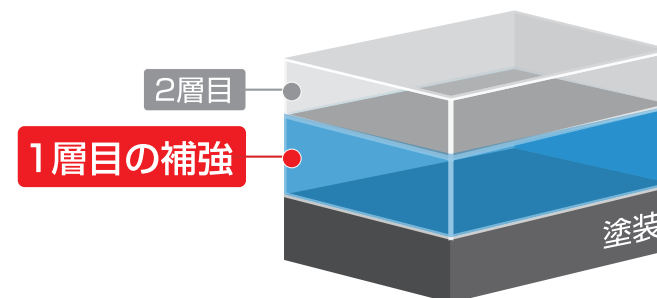
参照ページ：P3～ P6



## ② 一層目のガラス被膜を補強します

施工内容は  
「Bメンテナンス【ガラス被膜の補強】」参照

参照ページ：P28～ P31



# B フルメンテナンス 【ガラス被膜の補強】

**塗装面が濡れた状態で作業を行ってください。**

炎天下を避け、日陰でボディを冷まして作業をしてください。

⚠ 注意:

- 天下やボディが熱い状態で施工すると急激な反応により、塗りムラや拭きづらくなるといった現象が出る場合があります。ボディが熱い場合は、予め水をかけるなどして、よく冷ましてから施工してください。



## ① フロントガラスの上部に タオルを当てておく

👉 参考

- ケミカルを含んだ水がフロントガラスに垂れないようにタオルを当てておく。もしダイヤモンドキーパーケミカルがガラス面についてもクロスで拭けば取れます。



## ② 水に湿らせ固く絞った「スポンジ(黄)」に 「ダイヤモンドキーパーケミカル」をスプレー

👉 参考

- 飛散した「ダイヤモンドキーパーケミカル」が付着しないよう、車に背を向けて、スプレーノズルと「マイクロスポンジ」を近づけてスプレーします。

\*最初は2往復  
(Wの字)



\*以降は1往復  
(Vの字)



# B フルメンテナンス【ガラス被膜の補強】

## ③ ボンネット半分位 一定方向に「隙間」なく フチまでしっかり塗り広げる。

### 👉 参考

- スポンジ（黄）がボディの水分を含んできたら、絞ってダイヤモンドキーパーケミカルを足してください。
- スポンジの動きが重く感じたら「ダイヤモンドキーパーケミカル」を足してください。
- 1スパンの面積をボンネット半分の面積よりも広くしないでください。（被膜として必要な厚みが確保できません）

\*スポンジの動き

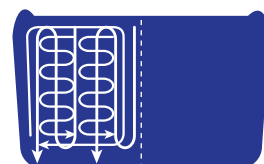


\*スポンジの持ち方  
スポンジを支えるように  
軽く押さえます。



## ④ ②で塗り広げた範囲を クロス方向にすり込み、 ガラス被膜を定着させる

\*スポンジの持ち方  
手のひら全体でスポンジが  
半分へこむ位の力で押さえる



## ⑤ 1枚目の固く絞った「ダイヤクロス」で 拭く

### 👉 参考

- ケミカルが硬化する前に拭き上げてください。

\*クロスの動き



\*クロスの持ち方  
クロスのカドを親指で  
ロックするように挟む



# B フルメンテナンス【ガラス被膜の補強】

## ⑥ 2枚目の乾いた「ダイヤクロス」で仕上げる

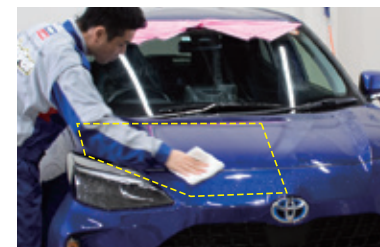
👉 参考

- 塗布した面積よりも、少し広く拭くことでキレイに仕上がります。

\*クロスの動き



\*クロスの持ち方  
クロスのカドを親指でロックするように挟む



## ⑦ ボディ全体に①～⑤の作業を行う

⚠ 注意:

- 常にボディが濡れた状態で作業をしてください。  
ボディが乾きそうなときは水スプレーを使ってボディを濡らしてください。
- ウィンドウガラスの水滴は乾く前に拭き取ります。



ガラスコーティングの流れ

右前ルーフ→右後ルーフ→トランク→  
左後ルーフ→左前ルーフ→左ボンネット→  
右ボンネット→右フロントフェンダー→  
右前ドア→右後ドア→右リアフェンダー→  
リア周り→左リアフェンダー→左後ドア→  
左前ドア→左フロントフェンダー→  
フロント周り





# B フルメンテナンス【ガラス被膜の補強】

## 8 エアーガンでタオルで拭けない 「隙間」の水を飛ばす

### 👉 参考

- ドアミラー、ドアノブ、ワイパー周り、バイザー内側、給油口、アンテナ、ホイール・タイヤ、フロントグリルは、特に念入りに行います。



## 9 ボディ、窓、ステップ、 ボンネット裏の水を拭き取る

### ⚠ 注意:

- ステップ、ボンネット裏は砂やホコリ等が付着するので、別のタオルを使用してください。窓ガラス、ボディで使用するとキズの原因になります。

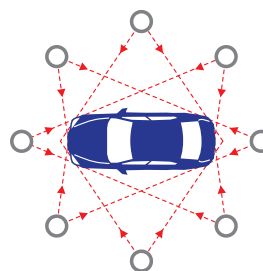


## 10 拭き残しなどを確認

施工を終えたら、いろいろな角度から施工車を見て、拭き残しがないか確認します。

### 👉 参考

- 1m位離れたところから角度を変えてチェックします。



# B フルメンテナンス【レジンコーティング / 仕上げ】

## ① レジンコーティングを施工する

施工内容は  
「ダイヤモンドキーパー STEP4 レジンコーティング」参照

参照ページ：P10～P12



## ② 仕上げ拭き

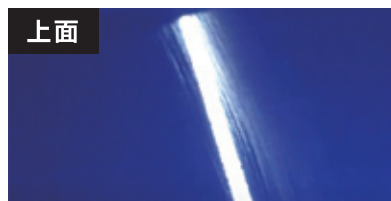
👉 参考

- ボディは乾いた(または固絞り)「レジクロス」で、窓は「キーパークロス」を使って仕上げ拭きをします。

使用ツール  
キーパークロス



上面



蛍光灯などの映り込みを見ながら拭き残しがないか確認します。

側面



ボディに映り込んだ「白いボード」に拭き残しが映らないか確認します。

淡色の車の場合



白い車(淡色車)は「日陰で作業灯」を使って映り込みを見ながら確認します。

## ③ 最終確認

もう一度、全体がしっかりコーティングがされているか、拭き残しがないか、いろいろな角度から確認します。

👉 参考

- 1m離れたところから角度を変えてチェックします。

